

Ciscoライセンスオンプレミス(CLP)環境でネットワークアドレス変換(NAT)を有効にするにはどうすればよいですか。

はじめに

このドキュメントでは、Cisco License On-Prem(CLP)でネットワークアドレス変換(NAT)を有効にするための段階的なプロセスについて説明します。

ビデオ

このコンテンツの目的は、教育用または情報用の情報を共有することです。ビデオを見るか、以下のコンテンツを読むかを選択できます。どちらも同じ内容であるため、好きな形式で自由に操作できます。

前提条件

開始する前に、次の点を確認してください。

- シスコスマートアカウント
- スマートアカウントまたは仮想アカウントにアクセスできる有効なCCOユーザIDとパスワード。
- Cisco License On-Prem(CLP)への管理者アクセス

手順

NATはSLPデバイスでサポートされます。有効にするには：

ステップ1：シスコライセンスオンプレミス(CLP)を開き、Admin Workspace([https://\(IPアドレス\):8443/admin/#/mainview](https://(IPアドレス):8443/admin/#/mainview))に移動します。

ステップ2:Settingsをクリックして、CSLUタブに移動します。

ステップ3:Enable NAT (Network Address Translation) setupチェックボックスを選択して、設定を有効にします。この機能はデフォルトで無効になっています

ステップ4:Applyをクリックします。

トラブルシューティング

外部のお客様/パートナー様専用：次の手順に従って問題を解決してください。さらにサポートが必要な場合は、[Cisco Support Case Manager](#)からライセンスサポートのリクエストを開始してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。